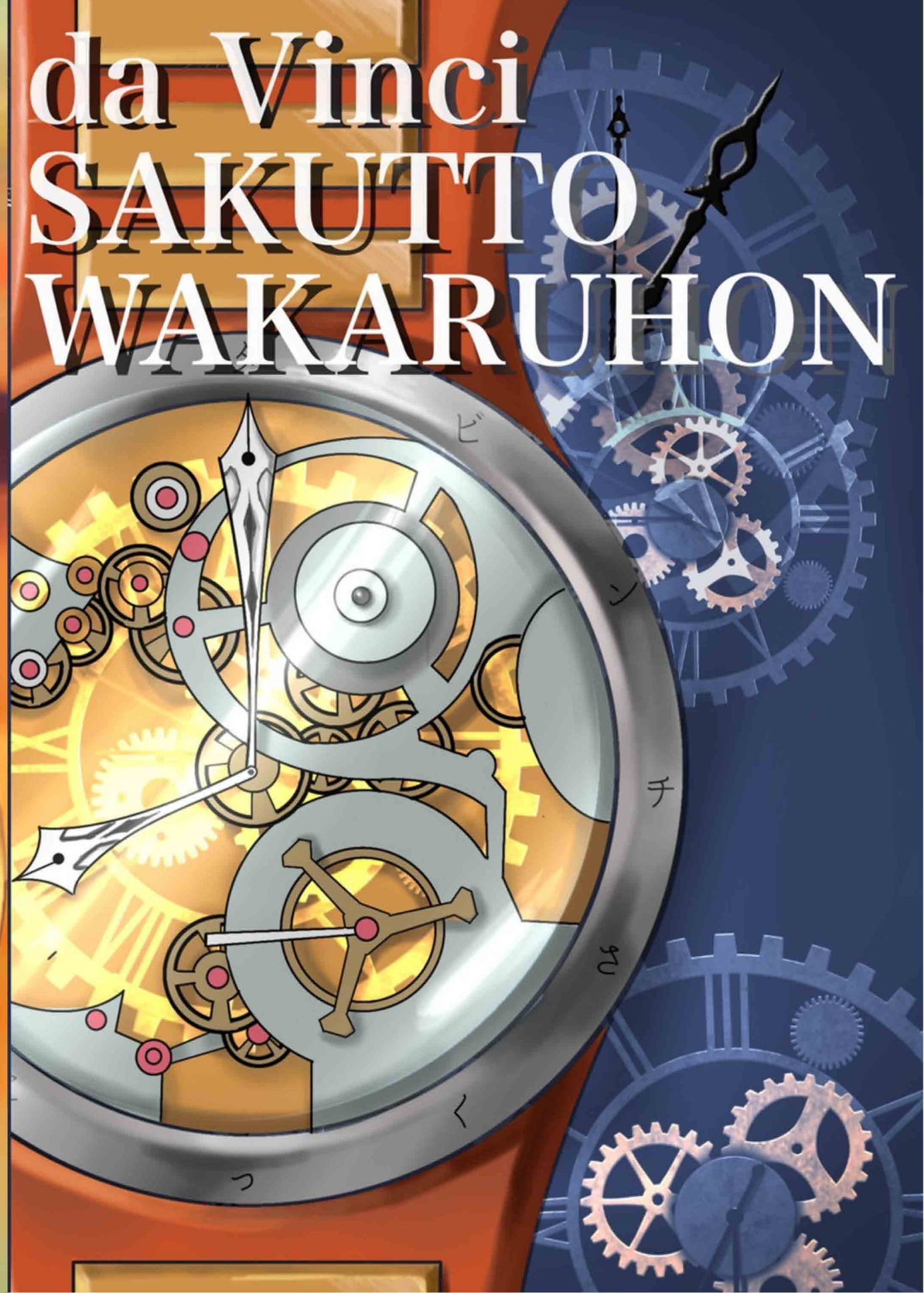




da Vinci SAKUTTO WAKARUHON

1 はじめに

目次

1	はじめに	p.02
2	ダビンチ入試（総合型選抜）とは	p.03
3	地域創生Tech Programの受験をお考えの皆さんへ	p.04
4	一般プログラム【グローバル】の受験をお考えの皆さんへ	p.04
5	選考方法	p.05
6	合格後の流れ	p.07
7	ダビンチCRプログラム（入学前教育）について	p.08
8	先輩からのアドバイス	p.09
9	逆転！合格体験談	p.11
10	合格体験記	p.13
11	おわりに	p.17
	Q&A	p.18
	編集後記	p.19

本冊子は、ダビンチ入試（総合型選抜）についてまだ詳しく知らない受験生の皆さんに、実際に受験した学生からのアドバイスや体験談などをお届けするために作成されました。本冊子を通して、より多くの方にこの入試を知ってもらい、興味をもっていただくきっかけとなれば幸いです。

試験内容は毎年変更されます。あくまでも、受験準備の参考として本冊子をご活用いただき、詳細な最新の情報は、随時本学のホームページでご確認ください。

2026年7月

京都工芸繊維大学 生協学生委員会
「ダビンチさくっとわかる本」制作チーム



2 ダビンチ入試 (総合型選抜) とは

ダビンチ入試（総合型選抜）は一般選抜とは違い、基礎知識、語学力、理解力、問題解決能力、論理的思考能力、文章表現能力などの資質・能力を総合的に判断する京都工芸繊維大学独自の入試方式です。



令和8年度の出願期間は9月1日（火）～ 9月8日（火）（消印有効）です。出願時には、「志望理由書」を書くことになります。

志望理由書では、自分が高校生活で頑張ってきたことを中心に現状を分析して自分の活動の振り返りをしましょう。自分の将来のビジョンに対して、今の自分はどの位置にいるのかを分析することが必要です。必ずしも賞や資格が必要というわけではありません。大学で挑戦してみたいこと、あなたがどうして京都工芸繊維大学を志望するのかなど、熱い思いをぶつけましょう！「京都工芸繊維大学だからこそ」の理由が書けると良いでしょう。

3 地域創生Tech Programの 受験をお考えの皆さんへ

地域創生Tech Programでは、理工系の技術をもって各地域の課題を解決する人材を育成し、特に京都府北部の地域及び産業をフィールドとして学修し、各地域の活性化に貢献する技術者を輩出することを目的としています。

松ヶ崎キャンパスで学んだ専門知識及び技術をベースに、3年次後期に京都府北部を拠点として、地域課題の解決に取り組むPBL型の授業や、インターンシップといった実践的かつ活動的な学修にも取り組みます。

4 一般プログラム【グローバル】の 受験をお考えの皆さんへ

一般プログラム【グローバル】は、各課程の専門を通して産業等のグローバル展開に貢献する意欲を持ち、科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心と、客観的な判断力、論理的説明力に加え、英語によるコミュニケーション能力を有する人材を求める選抜方法です。

令和8年に実施する令和9年度入学者向けダビンチ入試（総合型選抜）からは、国際バカロレア資格取得(見込み)者で本学が指定する科目、成績を修めた人を対象として実施します。

詳しくは大学ホームページ及び右記QRコードからご確認ください。



5 選考方法

ダビンチ入試（総合型選抜）の選考方法を大まかに紹介します。内容は毎年変化しているため、あくまで参考程度にお読みください。

第1次選考

午前：講義・レポート作成（学域ごとに実施）

はじめに大学教員の講義を聴き、その後、講義の内容に関連するレポートを作成します。もちろん講義では大学の内容が扱われることもありますが、大切なのはいかにその場で内容を理解し活用できるかであり、その時点で大学の専門知識を持っているかではありません。専門的な内容を扱う場合は資料の配付や解説があります。大学生になったつもりでしっかりと講義に耳を傾けましょう。

※一般プログラム【グローバル】では、令和9年度入学生向け試験より、講義レポート作成は物質・材料科学域のみで実施します。

午後：プログラムごとに実施

一般プログラム【一般】 課題提示・レポート作成

長文の課題文を読んで、それに関する問題を解きます。文章に書かれていることについて自分の考えを説明するなど、読解力と文章表現力等が求められます。

地域創生Tech Program【一般】【地域】【社会人】 地域課題レポート

全課程共通で、地域社会等の課題に対する理解力、分析力、提案力、更に語学力等を試す問題が出題されます。

最終選考（課程ごとに実施）

※参考：令和9年度ダビンチ入試 募集要項

応用生物学課程

面接

説明能力、理解力、論理的思考能力、理数系の基礎学力などを評価し、総合的に求める能力・適性を判定する。

応用化学課程

面接・口頭試問

基礎学力、目的意識、自主性、適性などを評価し、総合的に求める能力・適性を判定する。

電子システム工学課程

面接・口頭試問

説明能力、理解力、論理的思考能力、発想の斬新性、理数系の基礎学力などを評価し、総合的に求める能力・適性を判定する。

機械工学課程

課題提示・プレゼンテーション

自らの力で観て、考えて、創造し、それを表現する力の素養と、論理的思考能力、創造力、チャレンジ精神、数学、物理、英語等の基礎学力をプレゼンテーションにより評価し、総合的に求める能力・適性を判定する。

情報工学課程

①講義・レポート作成

②課題提示・ グループディスカッション

講義・レポート作成により、基礎学力や論理的思考力、表現力を評価するとともに、課題提示・グループディスカッションにより、提示された課題の中から問題点と解決策を見いだす能力、集団の中で他人の意見を理解し、協調して意見をまとめ上げる能力を評価し、総合的に求める能力・適性を判定する。

デザイン・建築学課程

①プレゼンテーション

②課題提示・ グループディスカッション

プレゼンテーション試験により自己の目的意識、創造力、独創性等を評価するとともに、課題提示・グループディスカッションにより、問題分析力、プレゼンテーション能力、独創性、意欲、リーダーシップ、協調性を評価し、総合的に求める能力・適性を判定する。

※ 各選考の詳細についてはホームページに掲載する募集要項を必ず確認してください

6 合格後の流れ

この時期は「大学生になる準備期間」です。興味関心のある分野に打ち込む時間は十分にあります。課程の専門分野についての文献を読むだけでなく、大学の講演会などに参加したり、見学に行ったりすることもできます。机に向かうだけでは分からない理解や感動が得られるはずです。留学を見据えて語学を勉強する人もいます。現役時代には分からなかったことを後輩に伝えるため、部活動に復帰するのもよいでしょう。ぜひ今までとはレベルの違う「学び」や「体験」を探してください。困ったときは大学や学生スタッフが皆さんの「学び探し」を全力でサポートします！

令和8年 11月18日 (水)

合格発表

大学のホームページ上に合格者の受験番号が掲載され、同日中に入学手続等の書類が発送されます。また、別途、ダビンチカレッジ・レディネスプログラム（入学前教育）で提出する課題も郵送されます。

令和8年

11月19日 (木) ~ 11月25日 (水)

入学手続

日程は合格後に発表

スクーリング

スクーリングは例年、12月～3月に、およそ1か月に1回の頻度で開催されています。学習相談をはじめ、大学教育の先取り講座や学生交流会、調査探究スキルの開発講座などが京都工芸繊維大学で行われます。そこでは、学生スタッフや先生に課題や今後の学習の相談をすることができます。さらに、学生交流会は、自分以外の合格者や学生スタッフと交流し、大学生活に関する情報を先んじて獲得する良い機会です。毎年、多くのダビンチ入試（総合型選抜）合格者が積極的に参加しています。

4月上旬

入学

7 ダビンチCRプログラム （入学前教育）について

ダビンチ入試合格後には、ダビンチカレッジ・レディネスプログラム（ダビンチCRプログラム）と呼ばれる入学前教育が行われます。

スクーリング

合格してから月に1回程度大学に行くスクーリングがあります。理工学の先取りをする講義や課題解決型学習（PBL）、学生交流会などが行われます。

グループワーク実践講座

第1回スクーリングから最後のスクーリングまでの4ヶ月ほどグループワークをして、最終的にプレゼン大会を行います。オンラインと対面で会議を進めたり、資料作成を行ったりします。

添削課題

合格生は11月の合格後に添削課題として、数学・英語・物理・文章表現の課題がそれぞれあります。

プログラム参加者からのコメント

- ・ 添削課題では、英語、数学、物理、文章などの基礎的な能力を復習したほか、それぞれの課題に対する解説や個別相談といった学習面での手厚いサポートがありました。ほかにも、理工学基礎講座では演習実験を通して自然科学への理解を深められたほか、周囲のダビンチ合格者と添削課題について交流することで友人を早いタイミングで作ることができました。このように入学前教育を通して工織生としての一歩を踏み出すことができたと思います。
- ・ アイスブレイクでは、課程ごとチームに分かれて1つのボードゲームをしたり、校内散策型のゲームをしたりすることで、同じ課程の人との仲を深めることができました。また、グループワーク実践では、グループを組んで課題に取り組むことで他の合格者と交流を深めることもできます。入学前から同級生と関わりを持てるのは、ダビンチ入試ならではの強みです！

8 先輩からのアドバイス

心構え

ダビンチ入試は、教科の学力だけで評価される入試ではありません。皆さんそれぞれの経験や考え方、学ぶ意欲なども含めて総合的に見てもらえる入試です。だからこそ、「こうすれば正解」というものがなく、不安や緊張を感じる人も多いと思います。ですが、緊張していつもの自分らしさを出せないのは、とてももったいないことです。入試直前は不安になると思いますが、あまり気負いすぎず、「自分らしく挑もう」という気持ちで臨んでみてください。また、一般選抜の勉強との両立もあり大変な時期だと思いますが、その経験も含めて、みなさんにとって大きな力になるはずです。最後まで自分を信じて頑張ってください。

「輝かしい経歴なんてないし、一般選抜に響くかも」と、悩んでいる方が多いと思います。それでも、挑戦できる回数が増えるダビンチ入試の強みを活かすことを、オススメします。受かったらラッキーぐらいのおおらかな気持ちで挑戦して下さい。大学公式のホームページにダビンチ入試のサイトの案内があります。参考になる情報が載っているので、見てみて下さい。

グループディスカッション

初対面の相手とグループを組んで話し合いをします。萎縮せず、かといって独りよがりにならないように周りを見ることが大切です。また、グループディスカッションは楽しんだ方が上手くいくことが多いです。重く捉えて緊張するのではなく、リラックスして受けましょう。せっかくですので、珍しい体験をぜひ楽しんでください。

プレゼンテーション

プレゼンテーションと聞くと、「どう対策すればいいの?」「上手に話せるか不安...。」とハードルが高いように感じるかもしれません。しかし、自分が考えていることをまとめたうえで、面接官にアピールすることができればOKです。相手に伝えようとする気持ちを大切に、自信をもって臨むことが合格への鍵になります。

面接・口頭試問

面接では、学んだ内容を自分の言葉で説明する練習をしておくことが大切です。知識があっても、相手に分かりやすく伝える力は別で必要になります。

また、自分が興味のある分野や志望理由については、しっかり答えられるように準備しておきましょう。くわえて、時事問題など時代や社会の課題にも目を向けておくと、幅広い質問に対応しやすくなります。試験方式や質問内容は毎年変わるため、想定外の場面でも落ち着いて対応できる柔軟さを身につけておくことが重要です。

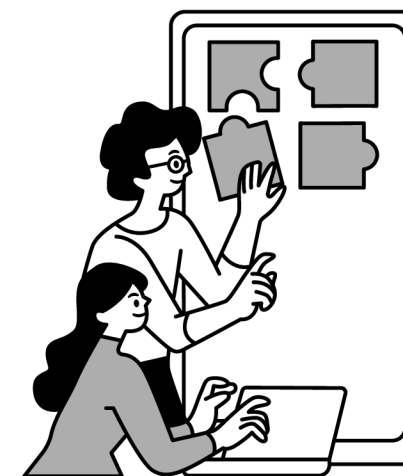
講義・レポート作成

大学の先生による講義を受け、その後に筆記試験へ取り組みます。講義中に取ったメモを見ながら解答できる形式です。試験は記述式が多い印象です。内容を理解し、自分の言葉で説明しましょう。例年、講義と試験の間には休憩時間が設けられているので、その時間を活用して講義内容を振り返っておきましょう!

対策

ダビンチ入試に向けては、学んだ内容を理解するだけでなく、それを自分の言葉で正確に人に説明できる力を身につけることが重要だと思います。

そのため、日頃から学習した内容を自分で言葉にして説明する練習などの対策をすることをおすすめします。



逆転！ 合格体験談

ダビンチ入試に不合格に
なったのちに
他の入試方式で逆転合格
した先輩も多数います！

課題提示・レポート作成について

- ・毎年方式が少し変わるため時間配分が分からず、時間が少し足りなかった。
- ・英語の内容理解が難しかった。また、文章作成が抽象的で、さらに難しく感じた。
- ・いかに知識を詰め込めているかではなく、これまでどのように物事を考えてきたのかが問われる試験のように感じた。

次の入試に向けて

- ・不合格が出て、残念ではあったがはじめから受からない気持ちで挑んだため切り替えは早かった。
- ・最終選考で不合格になり、しばらくは落ち込んでいた。しかし、落ち込んでいたって仕方がないと思い直し、共通テストの目標点、残り期間で勉強しなければいけないことなどをまとめることから始め、そこからモチベーションを保って勉強した。

受験してよかったこと

- ・よりこの大学に来たいという気持ちが高まったこと。
- ・合格チャンスを増やせること。
- ・受験回数が増えるため心の支えになったこと。

コメント・メッセージ

- ・落ちたときは本当に落ちただけれど、今思えば落ちたとはいえ他にない良い経験だった。個人的には、合格の可能性が少しでも増えることも考えて、勇気を出して受験することも検討する価値があると思う。
- ・ダビンチ入試を受けたことで自分の第一志望への気持ちを再度確認できたと思います。

応用化学課程受験者

私はダビンチ入試に挑戦しました。結果は不合格でしたが、この経験はその後の受験勉強に大きく役立ったと思います。応用化学課程の講義・レポート作成の対策としては、過去問にしっかりと取り組むことが重要だと感じました。不合格が分かったときは落ち込みましたが、ダビンチ入試のことは忘れ、受験後に食べたラーメンのことだけを覚えておくことにしました。1週間ほど勉強から離れて気持ちを切り替え、その後は共通テスト対策や二次試験対策に向けて再び頑張りました。

受験してよかったことは、受験本番の緊張感や会場の雰囲気にも早い段階で慣れることができたことです。また、志望理由書などを作成する中で、自分が何をやりたいのかを改めて確認する機会にもなりました。ダビンチ入試は受験して損することはないと思います。少しでも京都工芸繊維大学を志望する気持ちがあるなら、ぜひ挑戦してみてください。一般選抜の過去問をしっかりと組みめば、十分対応できると思います。

デザイン・建築学課程受験者

私はダビンチ入試で不合格でしたが、一般選抜で合格することができました。ダビンチ入試の志望理由書の作成や小論文の対策は夏休みごろから始めたのですが、あくまで勉強の主軸は一般選抜におき、勉強の合間の休憩時間をダビンチ入試の準備時間として活用していました。一般選抜メインで対策をしていたので、不合格となった後も「一般選抜が俺の得意分野やから別にいいもんね！」とすぐに切り替えることが出来ました。もし、ダビンチ入試を受験するか悩んでいるなら、挑戦してみてもいいと考えています。なぜなら、ダビンチ入試での準備・対策がそのまま学校推薦型選抜や一般選抜に活用できるからです。ダビンチ入試の段階で志望理由を深掘りしておけば、他の受験方式で参考にできますし、総合問題で最近出題される数百字の論述問題もあらかじめ慣れた状態で取り組むことができます。本学にはダビンチ入試を含め、最大で3回の入試機会があります。合否にかかわらず気持ちを切り替え、共通・2次試験対策に集中すれば合格は十分狙えます。

10 合格体験記



一般プログラム【一般】合格者の声

応用化学課程 H・Kさん

私がダビンチ入試を知ったのは高校2年の冬でした。高校で化学に関する課外活動(研究発表会など)を多く行っていたので、実績を活かせると思い、ダビンチ入試を受けようと思いました。

志望理由書を書くときは、将来自分がどの分野で何をしたいか、それが本学とどう関係するのかについて考えながら書きました。最初はなかなか具体性を持たせることができず、曖昧なことばかり書いてしまいました。しかし、本学の情報と自分の研究内容や興味関心とを照らし合わせるうちに、自分のやりたいことがだんだん見えてきました。

第1次選考の対策は特にしていなかったわけではなく、高校の授業の予習復習を主に行いました。普段から勉強をきちんとできていたので、当日は緊張せず、落ち着いて問題を解けたと思います。

最終選考のときも会場に来るまで平気だったのですが、いざ面接が始まると緊張しました。しかし、「第1次選考を突破できたのだから私ならできるはずだ」と思っていたので、面接が始まって数分したらもう慣れていました。いくつか上手く答えられなかった質問もありましたが、自分の答えに疑問を持つよりも堂々としている方がずっと良いと考えたので、なるべくそうするようにしました。また、形式的に答えるのではなく、自分がその時相手に伝えたいことを言うようにしていました。その方が自然と相手に熱意を伝えられると考えたからです。

私にとってダビンチ入試は、自分のしたいことを他人に自信を持って伝える良い機会となったと思います。受けるデメリットはありませんので、ぜひ受けてみてください。

一般プログラム【一般】合格者の声

電子システム工学課程 H・Kさん

私がダビンチ入試に挑戦しようと思ったのは、浪人が決まった春でした。現役の頃は出願すらしていませんでしたが、浪人する際「どうせならできることは全部やろう」と考え、受験を決めました。今となっては現役のときにも挑戦すべきだったと感じています。

ダビンチ入試は一般の入試と比べて教科の学力だけではなく、自分の興味のある分野の専門知識や、これまで自分が取り組んできた活動などを評価してもらえるのが魅力です。実際に志望理由書を書き始めてみると書きたいことをまとめるのに難儀しました。ただ、研究室や大学で学ぶ内容について調べるうちに、改めて自分の興味や将来やりたい仕事などについて考えることができ、自分と向き合う良い機会となりました。

第1次選考は、講義・レポート作成での講義内容が自分の得意な分野とは全く別の内容で非常に難しく感じました。課題提示・レポート作成は、一般選抜に向けてしっかりと対策をしていたのでそこまで難しいとは思いませんでした。面接試験の際はとても緊張しましたが、自分の大好きな専門分野について他人と意見交換できるすごく良い機会でした。普段は相まみえることのない教授の方々と話す機会はとても楽しかったです。

ダビンチ入試は、準備が大変で一般選抜の勉強時間が削られるかもしれないと思い、受験を悩んでいる人もいるかもしれません。しかし、もしあなたが「この大学でこんなことを学びたい!!」と強く思っているのであれば、ぜひチャレンジしてみてほしいと私は思います。たとえ失敗しても他の入試方法で受験するチャンスがありますし、その経験は決して無駄にはならないと思います。やらぬ後悔より、やる後悔!皆さんの健闘を祈ります!



※1 令和9年度入学者向け試験より、国際バカロレア資格取得(見込み)者であることが出願資格として必要です。

※2 令和9年度入学者向け試験より、英語スピーキング・ライティングは実施されません。

一般プログラム【グローバル】合格者の声

応用生物学課程 M・Oさん

私は英語が得意であったため、グローバル^{※1}で受験しました。ですが、ダビンチ受験を決意するまでがとても長かったです。日本語より英語の方が得意な私にとって大学の講義を聞いた上で課題・レポートを作成することはとてもハードに感じたからです。過去問を見た際に、私にはできないと諦めの気持ちが芽生えてしまい、なおさら受験する気が失せました。ですが、せっかく英語を得意としているからには、このグローバル枠にチャンスを賭けてみることを決意しました。

不安はありましたが、とりあえず、できる限りの勉強をして当日まで対策しました。講義に関しては、ダビンチ入試用の過去問と一般受験用の過去問を解いて対策しました。英語の筆記^{※2}の部分は、大学のホームページに記載されていたサンプル問題や英検の面接・要約問題を活用して対策しました。いざ当日を迎えたときは、試験開始まで不安と緊張でガチガチでした。ですが、私が思っていた大学の講義とは全然違ったため、緊張が少しほぐれました。また、講義の内容が非常にためになったこと、講義を楽しく受けることができたことが印象的でした。

私が一番力を入れたことは、口頭試問でした。口頭試問でははっきりと！わかりやすく！自信を持って！話すことが一番大切だと思います。もちろん正しいことを自信を持って答えることに越したことはありません。ですが、緊張や勉強の抜け漏れで、正しく答えることが難しい場合もあるかもしれませんが、ぜひはっきりと！わかりやすく！自信を持って！話すことを意識してみてください！また、今年から第1次選考の内容・出願資格が変わるので、ホームページで確認してください。みなさんのチャレンジを全力で応援しています！

地域創生Tech Program 合格者の声

応用化学課程 S・Kさん

高校で開催された地域創生Tech Programの説明会で、このコースに興味を持ちました。私は京都府北部地域の出身であり、地元へ貢献したいという思いから、地域創生に特化したプログラムのある京都工芸繊維大学を志望しました。

このプログラムでは、京都府北部の自治体が抱える課題に実際に取り組む、実践的な授業が行われています。私は、地元の放置竹林を活用したいという旨の内容と地域創生Tech Programで具体的に学びたい内容を志望理由書にまとめました。

また、ダビンチ入試の第一次選考である地域課題レポートでは、大学のホームページに掲載されている過去問を解き、内容や文法を意識して推敲をし、このテーマで活用できそうなことについて調べるという対策をしていました。試験では地元である京都府北部に関する問題や、対策していた問題に似た内容が出題されたこともあり、スムーズに課題を解くことができました。

地域創生Tech Programの学生は好奇心旺盛で行動力がある人が多いと思います。もし地域創生に興味があり、実践的に学びたいと考えているなら、ぜひ地域創生Tech Programへの受験を検討してみてください！



11 おわりに

この一冊を通してダビンチ入試（総合型選抜）について紹介してきましたが、いかがでしたか？少しでもダビンチ入試に興味を持っていただけたら幸いです。この内容は私たちが受験したダビンチ入試の内容に準じて作成しています。皆さんが受験の時には、内容の変更が予想されるため、予め事前に大学からの入試情報を得るようにしてください。ダビンチ入試は他の入試方式よりも受験時期が早く、一般選抜と並行して対策を行わなければいけないというハードルがあります。しかし、ダビンチ入試のための勉強は必ず皆さんを志望校合格へと導いてくれるはずです。ダビンチ入試は皆さんに「対策されない」・「予想されない」を目標とした試験となっています。そのため、対策自体を目的とするのではなく、学ぶこと自体を楽しんでほしいと思います。

京都工芸繊維大学を目指す方はぜひ受験を検討してみてください。ダビンチ入試での様々な経験を通して、京都工芸繊維大学に行きたい気持ちはより大きくなることでしょう。京都工芸繊維大学で、皆さんをお待ちしております。

京都工芸繊維大学 生協学生委員会

TeamAO

「ダビンチさくっとわかる本」は TeamAOのメンバーが作成しました！

TeamAOとは？

生協学生委員会内に存在する、ダビンチ生をサポートする団体です。総合型選抜の旧名称AO入試から名前をとってTeamAOです。主に夏のオープンキャンパスで、「ダビンチさくっとわかる本」の作成やグループディスカッション体験会の開催、ダビンチ入試合格者が集まるスクーリングで、相談会や学内散策などを企画・開催しています。

制作：京都工芸繊維大学 生協学生委員会 TeamAO

Q&A

ダビンチ入試にまつわるQ&Aをまとめました。

受験の参考にしてみてくださいね。

Q. 受験時の服装は？

A. 制服でも私服でもどちらでも大丈夫です。

私服は華美すぎない格好であれば大丈夫だと思います。

Q. 受験時の持ち物は？

A. 募集要項には受験票（絶対忘れないようにしましょう！）、黒鉛筆またはシャープペンシル、消しゴムとありますが、受験前に再度確認しましょう。また、昼食やティッシュ、常備薬などを持参しておくといいと思います。試験当日、教室に時計は設置されていませんので、腕時計も持参するようにしましょう。

Q. レポート、課題提示とはなんですか？

A. 課程によって形式はやや異なりますが、問いに対して、自分の意見を求められる小論文のようなものや、数学や物理の問題を解くものなど様々です。

Q. 受験をするにあたって何か資格を持っていた方が良いですか？

A. 一般プログラム【グローバル】では今年度から資格が必要になっています。

Q. なんでダビンチ入試という名前なの？

A. ダビンチ入試とはイタリアの画家・彫刻家・建築家・自然科学者・技術者である万能人レオナルド・ダ・ヴィンチにちなんだもので、
"知性と感性"すなわち本学が求めたい資質の象徴としてイメージしたものです。

編集後記 | Editor's Message

- A・U

挑戦してみたいという気持ちを持つ皆さんの背中をやさしく押せるような一冊になっていたら嬉しいです。
分からないことだらけだと思いますが、好きという気持ちを大切に頑張ってみてほしいです！
- S・N

挑戦すればチャンス倍増
- S・I

受けなければ、受からない
- H・M

君の能力がダビンチ入試で発掘される！
- K・H

偽らず、ありのままを魅せること！
- T・T

少しでも受けてみたいと思うならぜひ挑戦を！
- H・O

案ずるな受験生
- K・K

Mon Panache！
- N・U

己の尖りを活かすチャンス！極めた知識が武器になります！
- S・K

受ける価値◎の入試だと思います。ぜひ検討してみてください！！！！
- H・K

チャレンジして損はない入試だと思います！やらぬ後悔より、やる後悔！皆さんの検討を祈ります！！
- R・Y

可能性は無限大！悩んでいるなら受けよう！
- R・M

自分がこの道を選択する。その意味と向き合い、全力でぶつけましょう！
- M・O

ぶちかます準備はできてるか、アリーナ！？
- R・H

かませ
- S・T

未来のレオナルド・ダ・ヴィンチになるためのプログラムです、これで入ると箔がつきます

表紙原案：K・O デジタル化：A・T

Memo

[illegible]